
さくら UTOPIA クラウド

IaaS サービス仕様書

- 第1.0版 -



さくら UTOPIA クラウド IaaS サービス仕様書

はじめに

本サービス仕様書は当社が契約者に対して提供する、IaaS サービスの仕様を定めるものです。
契約者は利用サービスを選択いただき、当社所定の利用申込書にて申込みください。
なお、利用申込書への押印および申込みをもって、本サービス利用規約に同意したものとします。
利用申込書受領後、通常約 5 営業日でサービスを開始しますが、サービス提供に必要な設定情報が不足している場合はこの限りではありません。
利用申込書に記載された利用開始希望日までにセンター担当者にて環境を準備し、「サービス開始のお知らせ」と「お客様設定情報」を契約者にメールで送付した時点でサービス開始となります。

1. サービスにおける責任分界点

1. サービス概要

IaaS III サービスとは、当社が運用する基盤上のリソースを切り出して提供するクラウドサービスです。
リソースとは、vCPU、メモリ、ストレージを指します。
契約者向けの Web 管理画面を提供しますので、仮想サーバーの作成や変更は契約者にて行ってください。
サービス利用開始時に Web 管理画面の操作マニュアルを提供します。

2. 責任分界点

契約者と IaaS III サービスにおけるそれぞれの責任範囲を次のとおり定めます。



2. リソース

1. サービスメニュー仕様（リソース）

(1) 基本リソース

利用申込書に記載された内容に基づき、契約者向けのリソースプールとして vCPU、メモリ、ストレージを割り当てます。（ストレージは HDD、SSD から選択可能）

Web 管理画面内に、Windows Server OS および Red Hat Enterprise Linux がインストールされた仮想サーバーテンプレートを提供しますので、必要リソースを割り当てて仮想サーバーを作成してください。

(2) Web 管理画面について

Web 管理画面で操作できる内容は以下のとおりです。

- ① 仮想サーバーの作成
- ② 仮想サーバーのパワーオン/パワーオフ
- ③ 仮想サーバーへのコンソール接続
- ④ リソースの割当状況の変更および確認
- ⑤ 本画面の利用者アカウント/パスワード管理

(3) マネジメントオプション

下記操作を代行するオプションです。

- ① 仮想サーバーの作成やリソースの割当操作
 - ② バックアップスケジュールの作成や保持期間の指定操作
- 必要な設定情報を受領後、約 5 営業日で設定を行います。

(4) リソースの変更について

- ① vCPU、メモリの変更の場合は、既存契約に対する基本リソースの更新申込みとなります。一部解約の場合は、仮想サーバーから割当てを外してください。
追加の場合は、契約者に提供しているリソースプールに必要量を追加します。仮想サーバーへの割当ては契約者にて管理画面から行ってください。
- ② ストレージ容量は種別ごとに 100GB で単位に指定可能。種別は、HDD/SSD から選択可能です。
ただし、同一仮想サーバーで HDD と SSD を両方利用することはできません。仮想サーバー単位で選択してください。

(5) リソースの制限事項

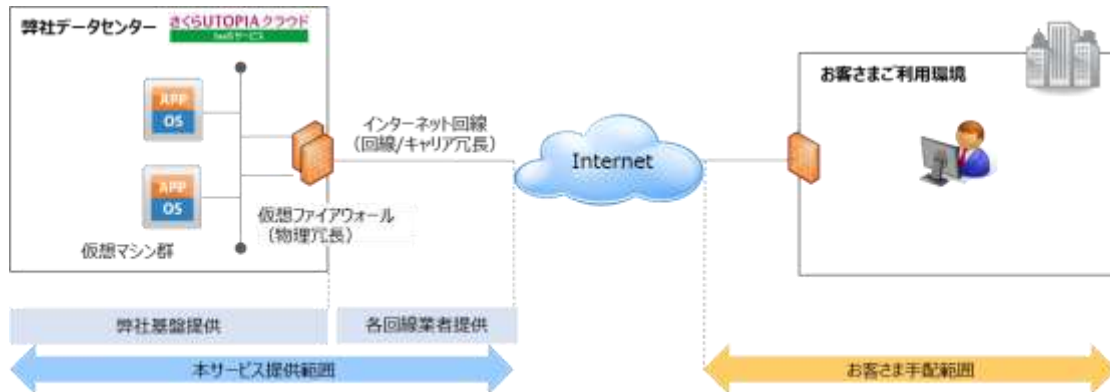
- ① vCPU、メモリ、ストレージの変更を行う場合、仮想サーバーの停止を伴います。
- ② ストレージ割当変更について、仮想サーバーに割り当てたストレージの追加はできますが、一部縮小はできません。
- ③ 1 契約あたりに割り当てるリソースの上限は以下のとおりです。
 - ・ vCPU 数：1vCPU 単位で最大 12vCPU
 - ・ メモリ容量：1GB 単位で最大 64GB
 - ・ ストレージ容量：100GB 単位で最大 2000GB上限を超えるご要望は別途ご相談ください。
- ④ 通常利用を超える連続的なストレージの I/O が発生する場合は、利用を制限する場合があります。
- ⑤ Windows Server OS および Red Hat Enterprise Linux がインストールされた仮想サーバーを提供しま

-
-
- すが、各 OS の最新化（アップデート）や機能追加は契約者の役割となります。
- ⑥ 仮想サーバー単位に仮想 CPU 数、メモリ使用量の上限を規定し、他の仮想サーバーへの影響を抑制します。
 - ⑦ 仮想サーバー単位にリソースの最大使用量を規定し、他の仮想サーバーへの影響を抑制しますが、設定された性能を保証するものではありません。

3. ネットワークサービス

(1) インターネット接続

冗長化構成のインターネット環境を提供します。



サービスに含まれるものは以下のとおりです。

① インターネット回線

インターネットに利用する回線は冗長回線をご提供します。

100Mbps ベストエフォートと 10Mbps ベストエフォートから選択できます。

② 仮想ファイアウォール

ファイアウォールの設定情報については当社提供の「ファイアウォール設定シート」に必要事項を記載のうえ、当社へ提出してください。ファイアウォールへの実装はサービス担当者にて実施します。

③ グローバル IP アドレス 1 アドレス

④ SSL-VPN 用アカウント 1 ID

⑤ NTP サーバー

(制限事項) IP アドレスは当社から割り当てます。持込みは不可。

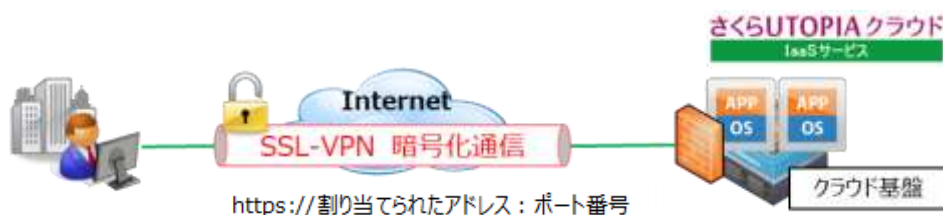
<SSL-VPN 利用について>

SSL-VPN 接続用アカウントを標準で 1 ID 提供します。SSL-VPN 利用者の端末から当社クラウドサービス間の通信が暗号化され、インターネットを経由した通信においても安全性を確保します。

なお、本サービスは常時接続を行うものではなく、連続接続時間は 4 時間です。利用中であっても自動で切断されますので、再度接続操作が必要となります。

なお、SSL-VPN 接続については特定のポート番号を利用しますので、SSL-VPN 利用者環境からインターネットへの通信を許可してください。

(接続先 IP アドレスおよび通信ポート番号については、サービス開始時の提供資料に記載します) また、SSL-VPN 利用マニュアルを提供します。



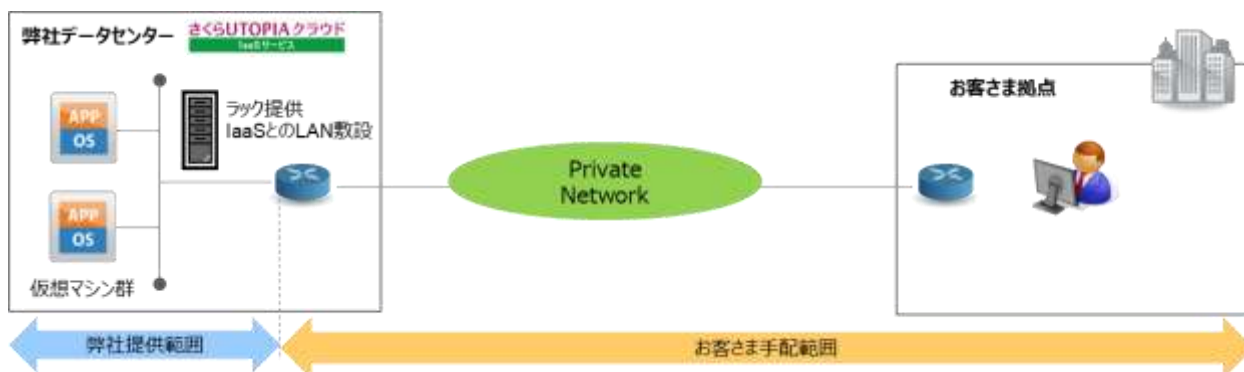
<ファイアウォール設定シートについて>

- ① ファイアウォールへ設定するポリシーは5つまで標準提供します。
- ② ファイアウォールポリシーを変更する場合は、本シートに変更内容を記載し、センターへ提供してください。本シートを受領後、約5営業日でサービス提供を開始します。
ポリシーの設定変更作業は原則当社営業時間内となります。
- ③ ファイアウォール設定数が標準を超過する場合や即時変更を希望される場合は、Web 操作画面を提供します（オプション）。
- ④ 新規申込みにおいて、利用開始希望日の5営業日前までに本シートの提出がなされない場合は、当社があらかじめ取り決めた既定値を設定し、提供を開始します。
既定値は以下のとおりです。

<ポリシー>Internal → External	
サービス	宛先
HTTP、HTTPS	ANY
DNS、NTP	ntp.sakura-utopia.jp
<SSL-VPN>	
接続元 IP アドレス制限なし、接続後の通信制限なし	

(2) プライベート回線接続

契約者が個別手配する回線を当社データセンター内で利用するため、端末装置やネットワーク機器を設置するラックを提供します。ラック内には IaaS 基盤に接続するための LAN ケーブルを敷設します。



本サービスは2つのメニューから選択します。

① 共用ラック型

お申込単位は1回線につき1契約です。

本サービスで提供されるラックは共用となるため、契約者個別の施錠管理はできません。ラック開閉はサービス担当者にて行います。

また、本メニューのラック仕様は以下のとおりです。

<ラック仕様>

(寸法)高さ 150mm、幅 439mm、奥行き 350mm の以下の機材

(電源)各機材の最大消費電力が 50W 以下。合計 100W 以下。

(挿口)コンセント接続 4 口以内

(制限事項) 拠点間接続用またはインターネット用のネットワーク機器および終端装置に限ります。

(制限事項) 異なるラック間および同一ラックの異なるユニット間の LAN ケーブル敷設は不可。

(制限事項) プライベート IP アドレスは当社から割り当てます。持込みは原則不可。

② 専用ラック型

1/8 ラック (4 ユニット) の専用扉付きラックのご利用料が含まれます。

お申込単位は 1 ラックにつき 1 契約です。

本メニューのラック仕様は以下のとおりです。

<ラック仕様>

(寸法)19 インチ汎用ラック 4U 専用ラック

(電源)すべての機器の合計が最大消費電力 100V10A (800W)以下

(挿口)コンセント接続 7 口以内

(制限事項) 拠点間接続用またはインターネット用のネットワーク機器および終端装置に限ります。

(制限事項) プライベート IP アドレスは当社から割り当てます。持込みは原則不可。

(3) センターサービスコネクト

IaaS 内のネットワーク環境に対して他サービスとの接続を提供します。

① ラック間接続

② 監視ネットワーク・社内メンテナンス接続

(いずれか 1 つ利用の場合でも、双方利用の場合でも 1 契約必要です。)

③ EDI ネットワーク接続

④ プリントネットワーク

(4) ネットワークオプションサービス

ご利用のネットワークサービスに以下のオプションを提供します。

① ネットワークセグメント追加

仮想サーバーを設置するネットワークセグメントを追加するサービスです。

② 仮想サーバーへの LAN カード追加

仮想サーバーへ LAN カードを追加するサービスです。

③ SSL-VPN ID 追加オプション

インターネット接続サービスに含まれる SSL-VPN 接続用アカウントを追加するサービスです。

1 契約つき最大 20ID まで追加できます。

④ 仮想ファイアウォール Web 操作画面提供オプション

インターネット接続サービスに含まれる共用ファイアウォールの Web 操作画面を提供するサービスです。ポリシーの即時変更や当社営業時間外での設定変更を希望される場合は本オプションを契約ください。

・ポリシーの追加・変更・削除を行えるファイアウォール専用の Web 管理画面を提供

・Web 管理画面の操作マニュアルを提供

・Web 管理画面の操作代行を提供 (オプション)

4. バックアップサービス

(1) バックアップサービス

仮想マシンのバックアップ環境を提供するサービスです。

- ① 仮想サーバー単位で別筐体のストレージにバックアップを取得します。
各仮想サーバーへのエージェントインストールは行いません。(エージェントレス)
- ② サービス提供時点で仮想サーバーはバックアップされません。契約者にて、Web 管理画面からバックアップスケジュールを作成する必要があります。
ただし、マネジメントオプションによりバックアップスケジュール作成を操作代行可能です。
バックアップに必要な設定情報を提供ください。設定情報を受領後、約5営業日で設定を行います。
- ③ 契約単位はバックアップ取得後のディスク容量(100GB単位)です。
- ④ バックアップは、契約容量範囲内で取得します。容量不足となる場合は新しいバックアップが取得できません。取得済みバックアップが保持世代経過により削除され次第、契約容量範囲内で取得できます。
- ⑤ Web 管理画面で操作できる内容は以下のとおりです。
 - ・バックアップスケジュールの作成
(当社指定の保持期間(日次・週次)を選択いただき、開始時間を指定してください。)
 - ・バックアップデータ保持期間の延長
 - ・ファイル/フォルダのリストア(ご利用開始時に本画面の接続情報と操作マニュアルを提供します。)
- ⑥ フルリストアについては、契約者からの依頼に基づき、センター担当者にて実施します。
受付は随時、実施は営業時間内の対応とします。

(2) 遠隔地バックアップオプション

バックアップサービスのオプションです。

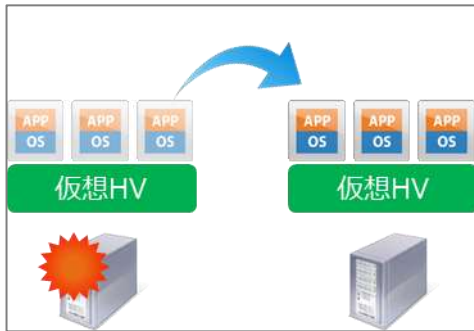
バックアップサービスと同一のディスク容量を契約し、遠隔地のデータセンターに設置されたストレージに取得します。

当社センター内の同一拠点バックアップが終了した後、後続処理で遠隔地バックアップが開始されます。

5. サービス基盤

1. 基盤構成について

- (1) 本サービスは、複数の物理的に異なるサーバーのリソース（CPU、メモリ、ストレージ）を仮想的に統合し、必要なリソース量を切り出して提供するものです。
サービス基盤に含まれる機能はすべて冗長化されており、リソースを提供する物理サーバーでは、HA 機能を標準提供します。



HA 機能：

物理サーバーが障害により停止したことを検知し、当該サーバー上で稼働していた仮想サーバーは別の正常なサーバーへ自動的に移動します。

その際、利用中の仮想サーバーは再起動が行われますが、起動後はネットワーク情報やデータは引き継がれた状態で継続稼働します。

- (2) 本サービスの基盤は冗長化された機器を含め、すべて同一のデータセンター内で運用しています。
バックアップサービスの遠隔地オプションで使用する機器のみ、別のデータセンターに配置しています。

2. 基盤運用について

- (1) サービス提供者の責任において、本サービス基盤であるハードウェアおよび仮想基盤、ネットワークの監視運用を行います。
監視によって通知される内容については、契約者への提供を行いません。
契約者が利用する仮想サーバーの死活監視および OS、上位ソフトウェアに対する監視は含まれませんので、別途サービスを契約してください。
- (2) 本サービス基盤に対して、パッチ適用やファームウェアバージョンアップ等を適宜行います。
契約者が利用する仮想サーバー上の OS、およびその上位ソフトウェアに対するパッチ適用は含まれません。契約者の責任で適用してください。
- (3) 本サービス基盤に対して、仮想ハイパーバイザーのシステムログ、インターネット接続サービスで使用するファイアウォールのログを取得し、6 か月間保存します。
本ログデータについては、契約者への提供を行いません。契約者からの問合せ対応範囲で、サービス担当者にて内容確認のうえ回答を行います。
契約者が利用する仮想サーバーの OS、およびその上位ソフトウェアのログについては、契約者にて取得してください。
- (4) 本サービスを提供する機器のリプレイスは当社にて実施します。
その場合、本サービスの停止を伴う場合があります。
サービス停止が発生する場合は、当社サービス規定のメンテナンス時間に対応します。
なお、何らかの要因により、メンテナンス時間を超過してもサービスが提供できない場合は、あらかじめ取り決めたメンテナンスの際の通知方法に基づき、アナウンスします。

3. サービス基盤のセキュリティについて

(1) 本サービスを提供する機器は、専用のラックに設置し、施錠管理を行います。

(2) 本サービスを提供する機器および仮想ハイパーバイザーについてのセキュリティ対策はサービス担当者にて実施します。

契約者が利用する仮想サーバー上の OS、およびその上位ソフトウェア、契約者が利用するネットワークについては、契約者の責任においてセキュリティ対策を行うことを必須とします。

6. ソフトウェア

1. 対応オペレーティングシステム一覧

仮想サーバーで利用可能なエディションは OS ベンダーの提供内容に準じます。

(1) Windows Server

- ・ Windows Server 2016
- ・ Windows Server 2019
- ・ Windows Server 2022

Windows クライアント OS は提供できません。

(2) Linux

- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.x (月額提供サービスのみ)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 8.x (月額提供サービスのみ)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 9.x (月額提供サービスのみ)

2. 提供ライセンス/サブスクリプション

(1) Microsoft 社製品 ライセンスについて

IaaS サービス上で Microsoft 社製品を使用する場合、契約者所有のライセンスを持ち込むことはできません。サービスプロバイダである当社から契約者に SPLA ライセンスを月額で提供します。

契約者が所有するボリュームライセンスを持ち込みする場合は、Microsoft ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを利用することができます。

① オペレーティングシステム (Windows Server) について

Windows Server がインストールされた仮想サーバーテンプレートをバージョンごとに提供します。

② その他の Microsoft 製品について

製品により、プロセッサライセンス、SAL ライセンス (ユーザー単位)、コアライセンス等、提供単位が異なります。

利用製品のライセンス形態についてはサービス担当者にお問い合わせください。

(2) Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションについて

当社 IaaS サービスで本製品を使用する場合、契約者所有のサブスクリプションを持ち込むことはできません。当社提供の「RHEL 月額利用料」にてサブスクリプションを提供します。

① 当社からサブスクリプション提供される OS は、Red Hat Enterprise Linux のアップデートに際し、当社提供の RHUI (Red Hat Update Infrastructure) サーバーからリポジトリの提供を受ける必要があります。設定変更方法は、マニュアルを提供します。

② Red Hat Enterprise Linux を利用する場合、毎月契約した「法人名」「住所」「サーバー数」が Red Hat 社に送信されます。

(3) Trend Micro 社 製品について

※新規販売を停止しています。

Trend Micro Server Protect 月額ライセンスを提供します。

本サービスの利用については、別途提示するトレンドマイクロ株式会社の「カスタマー契約の条件」が適用されます。

(4) サポートについて

当社サービスにて提供する各ライセンスおよびサブスクリプションについての問合せは、当社サポートデスク一次窓口となり、各メーカーサポートへ連携します。

連絡先および対応時間は、本仕様書に記載のサポートサービスに準拠します。

(5) その他ライセンスについて

その他契約者が利用するソフトウェアを IaaS サービスにインストールし、利用することができます。

クラウドサービスでの利用可否およびライセンスカウントや条件については、契約者の責任において確認のうえ利用してください。

3. 提供ライセンスに関する使用許諾について

以下のライセンスを利用する場合は、各社が定める使用許諾に同意することが前提となります。

(1) Red Hat Enterprise Linux サブスクリプション

① RED HAT END USER LICENSE AGREEMENT(EULA)

https://www.redhat.com/licenses/Red_Hat_GPLv2_Based_EULA_APAC_Japanese_20200504.pdf

② RED HAT ENTERPRISE AGREEMENT (EA)

https://www.redhat.com/cms/managed-files/Enterprise_Agreement_APAC_Japan_Japanese_20230303.pdf

③ Cloud Software Subscription Agreement (CSSA)

https://www.redhat.com/licenses/cloud_cssa/Cloud_Software_Subscription_Agreement_Japan.pdf

7. その他

1. サービスレベル目標について

「サービス稼働時間」に対し目標値を定めることにより、サービスレベル目標を定義します。

(1) 目標値

月間におけるサービスを利用できる率「以下、稼働率 = (サービス提供時間 - 停止時間) ÷ サービス提供時間」を 99.9%とします。

(2) 対象範囲について

- ・インターネット環境から当社サービス基盤までの通信接続を対象範囲とします。
- ・お客さまが使用されるインターネット環境は範囲外とします。
- ・稼働時間は、当社のシステム監視ツールで稼働確認を行います。
- ・事前に通知された計画メンテナンスは停止時間に含めません。

2. 定期メンテナンスについて

(1) サービス停止を伴うメンテナンスは、毎月第三木曜日 AM3 時～5 時に実施します。

(2) 当社が定期メンテナンスの必要性を判断し、不要と判断した月には実施しません。
(サービスの停止は行いません)

(3) 定期メンテナンスを実施する場合は、事前（原則 15 日前まで）に当社から通知します。
ただし、緊急を要する場合、または大規模なメンテナンスが必要な場合においては、この限りではありません。

(4) メンテナンスの通知は下記いずれかの方法で行います。

- ① さくら UTOPIA クラウド サービスサイトへの掲載
URL はご契約の際に送付する案内資料にてお知らせします。
- ② サービス申込書に記載されたご担当者に対して電子メールにて通知
- ③ 当社営業担当者からの連絡

3. 制限事項について

(1) ネットワークサービスについて

- ① ネットワーク通信において通常利用を超える多量な通信が発生した場合は、利用を制限する場合があります。
- ② プライベート回線接続サービスのラック仕様を超過する場合は、別サービス（ハウジングサービス）のレンタルラックを提供します。

(2) システム導入やデータ移行における媒体の取扱いについて

外部媒体の取扱いには対応していません。本サービスへのデータ移行やシステム移行等については、ネットワーク経由のみとなります。

(3) データ保障について

本サービスの構成環境を超える外部へのバックアップデータの保管は行いません。

ただし、バックアップサービスの遠隔地オプションを利用する場合、対象仮想サーバーのバックアップを他データセンター内に配置したストレージに保管します。

- (4) データ暗号化について
ハードウェアおよび仮想ハイパーバイザーレベルでの暗号化は提供しません。OS レベル以上での暗号化については、契約者の責任において暗号化の対応を行ってください。
- (5) 禁止事項について
以下のサービスについては、本サービス上に構築することはできません。
- ① オープンプロキシ
 - ② オープンメールリレー
 - ③ オープンで再帰可能な DNS サーバー
 - ④ DHCP および類似のサービス
 - ⑤ その他、法令・慣例・業界基準に照らし合わせて、当社が適当でないと判断したサービス
- (6) 契約者監査対応について
本サービスの提供範囲において、立入監査には対応できません。立入監査を除くその他の監査については、個別に相談に応じます。
- (7) 脆弱性診断について
本サービスは、ハードウェアを共有するサービスであるため、契約者によるツール等を用いた脆弱性診断を禁止事項とします。
- (8) 本サービスの利用終了時のデータの取扱いについて
本サービスの利用を終了する場合、当社の利用終了手続が完了次第、本サービス上に格納されたデータは速やかに削除します。
ただし、ストレージの物理的消去には対応できません。

4. サポートサービス

当社が提供するサポートサービスの内容は以下のとおりとします。

- (1) 内容と種類：本サービスに関する質問への回答および助言
- (2) サポートデスク受付窓口
電話 0120-391-374
メールアドレス iaas-sup@kcs.co.jp
- (3) サービス時間 受付：24 時間 365 日（電話または電子メール）
対応：平日営業時間内

当社営業時間は以下のとおりです。

月～金 9：00～17：30

年末年始および祝日を除く

※Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Server Protect は、トレンドマイクロ株式会社の商標です。

※Linux(R)は米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。

※Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。

※記載されている製品名、会社名等は、各社の商標または登録商標です。

※記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、R）を付記していません。

※記載されているサービス仕様は予告なく変更することがあります。

以上